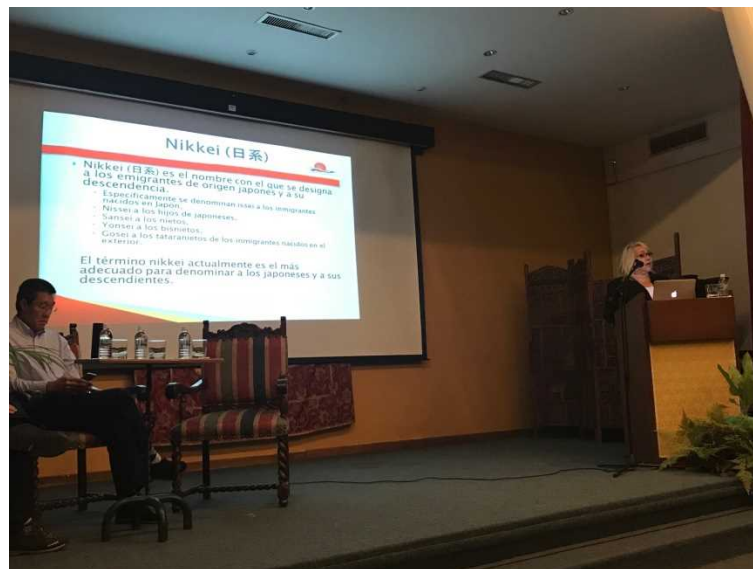


モンテアビラ大学日本文化週間（10月15日～19日）及び大使講演会の開催（10月19日）

10月15日（月）～19日、カラカス市内のモンテアビラ大学にて、日本文化週間が開催されました。大使館の後援の下、日本映画の上映会、国費外国人留学制度に関する講演会、ベネズエラ日系人連盟副会長を務めるダリ・ヤザワ氏による中南米における日系人の歴史及び先般参加した外務省「対外発信強化のための中南米日系人招へいプログラム」についての講演会が行われ、連日、同大学の学生を中心に多くの方がモンテアビラ大学を訪れました。



国費外国人留学制度についての講演会



ダリ・ヤザワ氏による日系人関連講演会

最終日（19日（金））には、午前10時より、駐ベネズエラ岡田大使によって「日本の戦後復興」に関する講演会が、同大学講堂にて行われました。日本が、第二次世界大戦後の苦しく危機的な状況からどのように再興し、経済発展を遂げたのか、という点に関心を持つ学生は多く、聴衆は、大使の言葉の一つ一つに耳を傾けていました。

モンテアビラ大学において日本文化週間が行われるのは、今年が第一回目であり、モンテアビラ大学学長及び理事長と岡田大使が懇談した際には、両氏から、今後の日本文化行事や日本国大使館との協力・共催行事等への意欲が示され、大使館としても、日本文化週間のより一層の協力など、今後の文化的協力を促進していく方針です。



駐ベネズエラ岡田大使による「日本の戦後復興」講演会